

令和6年6月28日  
健康福祉部地域福祉推進課

報道機関各位

**児童生徒の心の健康をサポート！  
～「SOSの出し方・受け止め方教育」モデル事業の実施～**

山形県では、令和5年3月に策定した「いのち支える山形県自殺対策計画（第2期）」に基づき、昨年度に引き続き今年度も、公立大学法人山形県立保健医療大学（看護実践研究センター）と連携して「SOSの出し方・受け止め方教育普及拡大モデル事業」を県内10市町で順次実施します。

つきましては、下記のとおり当事業の公開授業を実施しますので、取材くださるようお願いいたします。

**1 モデル事業概要**

日常生活において、児童生徒が困難を抱えた際に、自分の心の不調に気づき、適切に相談できるようになることを目指し、実施意向のあった市町村において1校ずつ外部講師が授業を行います。また、授業の前後にアンケートを実施し、効果検証を行います。

授業終了後に児童生徒を通じて保護者あての資料を配布することにより、身近な大人が児童生徒の発信する悩みを受け止めやすくなり、早い段階から問題解決に向けた手助けができることも期待されます。

[実施市町村] 鶴岡市、新庄市、村山市、中山町、朝日町、大石田町、金山町、最上町、飯豊町、三川町 の3市7町

**2 公開授業 ※三川町では当該事業を初めて実施**

日時 令和6年7月5日（金） 午後2時35分～午後3時25分

場所 三川町立三川中学校（橘 正敏 校長）（三川町大沢横山字堤105）

受講者 三川中学校の全校生徒、教職員

講師 山形県立保健医療大学 教授 安保寛明氏

内容 精神的な負担が長く続き、脳と心が疲れてきたときにどう対処したらよいかの授業を行い、助けを求めたり、自分をいたわることの大切さを学びます。

※取材について

公開授業の取材につきましては、7月3日（水）正午まで下記取材申込先に御連絡ください。

【本件に関する問合せ先・取材申込先】  
健康福祉部地域福祉推進課  
課長補佐 今野祐一  
電話 023-630-2274  
報道監 健康福祉部次長 菅原正春